

科目名	国語Ⅱ JapaneseⅡ			担当教員	東城 敏毅		
学 年	2 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	15220014	単位区別	履修
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人のものの見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。また論述演習・発表演習・相互議論も随時授業内に組み入れる。原則として週に1回漢字テストを実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ガイダンス（2） （1）現代文ガイダンス （2）古典ガイダンス 2. 評論Ⅰ（12） （1）「相手依存の自己規定」			物事の核心を把握する方法を身につける。 A3:1-2 日本人の思考・現代的な思考について考える。A3:1-2 論理的な文章の代表的構成法を理解できる。			
	----- [前期中間試験]（1）						
	4. 試験問題の解答（1） 5. 古典Ⅰ（14）—『平家物語』 （1）『平家物語』の基礎 （2）「能登殿の最期」			代表的な古文を読み、人間・社会・自然について考えを深めたり広げたりすることができる。 A1:3			
	前期末試験						
	6. 試験問題の解答（1） 7. 古典Ⅱ（13）—『源氏物語』 （1）『源氏物語』の基礎 （2）「小柴垣のもと」			代表的な古文を読み、人間・社会・自然について考えを深めたり広げたりすることができる。また日本人の思考方法を知り、自我意識の変革を促す。 A1:3, A3:1-2			
	----- [後期中間試験]（1）						
	8. 試験問題の解答（1） 9. 表現Ⅰ・小説Ⅰ（13）—『赤い繭』（安倍公房） （1）テーマの設定（班別討議） （2）プレゼンテーション演習（班別発表） （3）相互議論（質疑応答） （4）レポート作成			文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。 多様な視点により柔軟な思考力を養う。 A1:3 データを効果的に説明する力を養う。 C1:1-2, C4:1-4 他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価することができる。 B1:1-2, B3:1-3 自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。 B2:1-2			
後期期末試験（レポート2編）							
10. レポート採点評価と本年度のまとめ（1）							
評価方法	評価の内訳： 定期試験 70%, 授業内演習・提出物 20%, 漢字テスト 10%						
履修要件	特になし。						
関連科目	国語Ⅰ（1年）→国語Ⅱ（2年）→国語Ⅲ（3年）→文学特論Ⅱ（4年）→文学特論（専攻科2年）						
教材	教科書：精選現代文B 東京書籍 三角洋一他編 教科書：新編 古典B 教育出版 影山輝國他編 漢字：【精選】速修常用漢字〔改訂版〕 文英堂 谷本 文男 参考書：新訂新国語便覧 第一学習社						
備考	特になし。						